



### 目 次

新年のご挨拶	・ ・ ・ ・ ・ (小沢良和)	・ ・ 1
研究の成果	夏季における LA ハイブリッドユリの適品種選定 (7月出荷)	・ ・ ・ ・ ・ (紺谷 均) ・ ・ 2
	シュッコンカスミソウ切り花の切り前と前処理時のショ糖濃度が	
	花持ちに及ぼす影響	・ ・ ・ ・ ・ (宮前治加) ・ ・ 3
	スターチス培養苗の苗質が鉢上げ後の生育に及ぼす影響	・ ・ ・ ・ ・ (古屋拳幸) ・ ・ 4



LAハイブリッドユリの7月出荷用適品種 (左:ロイヤルホール、右:メノルカ、本文2頁)

## 新年のご挨拶

暖地園芸センター所長 小沢良和

2007年の清々しい新年をお迎えのことと存じます。

暖地園芸センターも昭和62年6月開設以来20年を経ることとなりました。この間、栽培の盛んなスターチス、カスミソウ、バラ、スイトピー、エンドウなどの栽培技術開発、新品種育成・産地化推進などに取り組んでまいりました

当地方の花き産地は、大規模な耐候性ハウスが増えつつあり、生産基盤は強化されてきていますが、安定した収益をあげられる品目の選定や栽培技術については、常に新しいも

のが求められています。

花き類の家庭需要、即ち、住まい・生活の中に花を取り入れる欧州型の習慣は広がりつつありますが、その質・量或いは定着度において彼の国々には較ぶべきもありません。

花き産地は、一般家庭需要を念頭に、買いやすい価格と満足度の高い品質を兼ね備えた品物をいかに提供するか問われています。

高品質品を高く売ったことを自慢し合うより、良い品を安く提供することを目標に、生産・流通・販売体制の整備と意識改革を目指したいものです。